

医療放射線被ばく説明書

(CT 検査、造影検査を受けられる方へ)

本検査では放射線を用いるため僅かですが放射線被ばくを受けることになります。

○放射線がからだにおよぼす影響について

放射線被ばくによる影響が生じる

境目として『しきい値』が存在します。

しきい値を超えない限り放射線による健康被害は発生しません。表のように当院で使用する主な検査ではガイドラインを超える線量に達することなく、放射線の影響はほとんどありません。

CT	CTDI(mGy)	ガイドラインmGy	DLP(mGy.cm)	ガイドラインmGy
頭	48.37	77	860.83	1350
胸部	8.6	13	251.47	510
腹部	9.31	18	440.82	880
一般撮影	入射表面線量mGy	ガイドラインmGy	入射表面線量mGy	ガイドラインmGy
胸部	0.19(立位)	0.3	0.29(10:1)	0.4
腹部	0.38 (3 : 1)	2.5	0.496(10:1)	2.5

みさき病院の数値

○検査の必要性について

放射線検査は得られる医療情報の利益が被ばくリスクより大きいと判断される場合に行われます。

また定期的に検査を行う場合があります。そうすることで病気の発見や異変、治療効果を適正に検出し最善につなげるためです。

○被ばく低減の試みについて

当院では診断参考レベルといわれる被ばくの適正化に使用する指標を用いて撮影条件を使用しています。最適な線量で検査ができるように努めています。

社会医療法人親仁会みさき病院
診療放射線安全管理委員会